

令和6年 第2回定例会号

～第2回定例会を6月19日から28日までの会期で開催しました～



大田区議会は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

おおた区議会だより

Ota City Assembly News

No.262 令和6年
8月4日



<https://www.city.ota.tokyo.jp/gikai/>



主な内容

- 代表質問 2～5
- 一般質問 6～10
- 議決結果 11
- 請願・陳情の審査結果 12
- 大田区議会議員（議席） 14～15

今号の表紙

田園調布旧駅舎

1923年に開業した田園調布駅の旧駅舎（2000年に復元）です。

田園調布の住宅街は、新一万円札の顔となった渋沢栄一の計画により建設されました。

おおた区議会だよりは、幅広い世代の方に議会活動を分かりやすくお伝えできるよう、用語解説を掲載したり、図や写真などを活用したりしています。
また、ユニバーサルデザインに配慮した書体・配色を使用しています。

代表質問

質問と答弁は、質問者がまとめた要旨を掲載しています。

本会議などの様子を、動画共有サイトYouTubeで配信しています。



代表質問……区の行政全般に関して、会派を代表して行うもの

地域を思い、未来へつなげるための力強い施策展開を



自由民主党大田区議団・無所属の会
鈴木 隆之



これからの区の人材について

Q 職員が持てる能力を最大限に発揮し、人材育成のみならず、人材確保や職場環境の整備の取組を総合的・戦略的に推進することが重要だと考えるが、区の見解を伺う。

A 新たな基本構想を策定し、不透明・不確実な時代においても、誰もが安心して暮らせるよう政策を進めていく必要がある。このため、6年度に職員の人材育成や人事管理に関する基本的な考え方を定める大田区人材育成基本方針を改定し、職場環境の整備や人材確保の取組を総合的・戦略的に推進する。自ら考え、行動し、チャレンジを続ける職員の育成・確保を一層進め、心やさらず、未来へはばたく笑顔のまち大田区の実現に向けて全力で取り組む。



大田区職員発令式の様子

Q 今後、策定する基本計画・実施計画は、財源を裏付けた実効性があるものにすべきと考える。必要な施策の構築と効果検証による

事務事業の見直しや再構築、優先順位付けが不可欠と考える。施策を支える持続可能な財政運営に向け、どのように取り組むか、見解を伺う。

A 今後の区の財政は、より一層厳しさを増す方向に推移することが想定される。自主的・自律的な施策の推進と、財政の持続可能性の確保を両立することが不可欠となるため、実効性を担保する財政計画や職員定数基本計画を作成していく。将来世代に負担を先送りせず、今を担う現世代の責任を果たす持続可能な自治体経営を実践していく。

区の未来へつなげる施策展開について

Q 学校・家庭・地域が連携し、将来の担い手として地域社会の持続的な発展に貢献し、区に住み続けたいと思える未来を、自ら創り出していく人材を育成・輩出することについて、教育長の見解を伺う。

A いかにして地域と一体となった教育を創り出すかが、最も重要な課題の一つである。これからの予測困難な時代において、笑顔とあたたかさあふれる地域を創り出していくためには、地域について自ら学び、考え出す力を育むことが大切である。そのために、区の独自教科である、おたの未来づくり[※]などにより地域課題に目を向け、実際に解決する体験を通して地域に役立つことの喜びや大切さを実感し、行動する態度を身に付けさせていきたい。

Q 区には、最先端技術開発を支える中小企業が多数存在して

いるが、環境を意識した今後の産業経済施策について、区はどのように進めていく考えか、伺う。

A 環境負荷を低減し、持続可能な社会を実現するためには、多様な課題に対応する科学技術の健全な発展が不可欠である。過度な環境負荷の抑制が事業活動の停滞を招くことのないよう、区内の中小企業が環境と産業の両立を図ることができ、操業環境を守りながら、日本のものづくりを支える区内産業集積の持続的な発展を支えていく必要がある。産業振興と区民生活向上の好循環を創出していく。

Q 区が保有する文化資源をより活用し、文化・芸術施策をどのように推進して未来のまちづくりにつなげていくのか、見解を伺う。

A 文化・芸術のまちづくりを実現するため、文化・芸術資源のすばらしさや価値を区民に分かりやすく伝え、身近に感じてもらうことが重要である。人生100年時代に豊かさを実感できるよう、笑顔あふれるアートなまちづくりを進める。

Q 地域力というキーワードを継承・発展させ、「笑顔とあたたかさあふれる大田区」の実現のために、今日まで奮闘されてきたと思うが、改めて鈴木区長の地域への思いを伺う。

A 前基本構想でも掲げられた地域力は、区の根幹をなすものである。地域力を将来にわたり高め、持続可能な区の未来を築くためには、特に次代を担う笑顔で元気な子どもたちを育むことが不可欠である。ま

た、地域社会全体の支援体制を整えることがその実現につながる。変化の早い不確実なこの時代でも、しっかりと自分の足で地域の状況を見て回り、求められている施策を時機を逸することなく講じる。未来に向け区民が夢や希望を持って暮らし続けることができるよう、引き続き全身全霊をかけて取り組む。

用語解説

※おおたの未来づくり

「笑顔とあたたかさあふれる未来を創り出す力」の育成を目指し、小学校第5・6学年を対象とする大田区の独自教科のこと。

区長の強いリーダーシップで素通りされない大田区へ！

大田区議会公明党
秋成 おさむ



新空港線の整備とまちづくりについて

Q 新空港線整備と併せ、蒲田駅周辺のまちづくりをどのように進めるのか。区長が抱くロマンと政治力で、蒲田や大森を素通りされないまちへ変貌させてもらいたい。経済波及効果が出た今が重要な時と捉えるが、区長の考えを伺う。

A 区が将来にわたり持続的に発展していくため、新空港線整備と併せた沿線のまちづくりを進め、まちの魅力や利便性を高めることが重要。蒲田駅周辺のまちづくりは、駅舎や駅ビルの機能更新など、一体的な整備に向けて具体的に検討している。誰もが住み続けたい、訪れたいまちとなるよう、私が先頭に立つてけん引し、取組を進めていく。



大田区が所有する美術作品の活用について

Q 区が文化の風薫るまちへと変貌を遂げるに当たり、区が所有する美術作品の活用と羽田イノベーションシティなどにおける文化発信の方向性について伺う。

A 多様な文化芸術に触れることは豊かな人間性や多様な個性を育む。地域の新たなにぎわいの創出にもつながる効果があるため、これまで以上に美術品の活用を図ることが重要。羽田空港に隣接する羽田イノベーションシティにおける文化芸術作品の展示は、区の多彩な文化資源を国内外に積極的に発信し、文化芸術施策の推進に寄与する。今後、展示・展覧に限らないデジタル技術の応用など、総合的・戦略的な手法で区の文化芸術振興を進めていく。

大規模火災から命を守る取組について

Q 逃げ遅れや逃げ惑いを防ぐ方策や、大規模延焼火災から区民の生命をいかに守るのか。

A 有事における行動力は日頃の取組の積み重ねで発揮される。火災発生時の適切な行動の周知や、定期的な訓練を通じた関係機関との連携強化で、迅速な消火活動と避難支援を円滑に行う体制を整えていく。

デフリンピック機運醸成について

Q デフリンピックの開催に向けた機運醸成について伺う。

A 東京2025デフリンピックは、開催から100周年となる節目の大会である。大田区総合体育館がバスケットボール、大森ふるさとの浜辺公園がビーチバレーボールの会場として選定された。スポーツ・福祉の部局をはじめ、区が一丸となり、大会のPRなど機運醸成に向けた取組に尽力していく。



東京2025デフリンピック大会エンブレム

熱中症対策について

Q 熱中症対策として公民連携の推進方法や、危険な暑さから逃げ込む「涼み処」の利用しやすい環境を整備するための方策と、民間施設への協力依頼について伺う。

A 東邦大学と大塚製薬を中心に産官学の連携で熱中症から区民の命を守る取組を進める。行政と違う視点での啓発や、ICTへの高度な知見を取り入れるなど、それぞれの強みを生かし、対策を講じる。高齢者対策として進めてきた涼み処は、若い世代の方も快く迎えている。以前協力してもらった民間施設に改めて依頼し、区全体で対策を講じる。

全庁的な環境政策の推進について

Q 今後の戦略的な環境政策について、区の見解を伺う。

A 複雑多様化する環境問題に対し、区が率先して行動を示すとともに、区民・事業者が行動変容を起こすことが重要。環境政策は様々な施策と横断的に結び付く政策基盤として大田区基本構想を支える。

おおた教育ビジョンと教育施策について

Q おおた教育ビジョンに照らし、問題発生時の暴力によらない解決策、相手を尊ぶ気持ち、平和の尊さを、児童・生徒にどう伝えるか。

A 世界各地で戦争・紛争が人類を脅かしていることの深刻さについて認識を深めさせ、相手の立場や考え方の違いを受け止め、主体的に話し合っ問題解決をしていこうとする実践的な力を育む。

異常な物価高騰から区民の暮らし・営業を守る区政を



日本共産党大田区議団
杉山 こういち



東京都知事と大田区政の関わりについて

Q 小池都政は経済ファースト・大規模開発により、都民の声に伝えてこなかった。出馬要請をした区長は小池都政を追認することになり、区民の願いに反するのでは。

A 現在の都政を肯定的に捉え、自発的に応援の意思を表した。

政治不信が沸き起こっているパーティー券などの裏金問題について

Q 区長も政治家として国会の審議にかかわらず、政治と金の問題について立場を明らかにすべき。

A 国の動きにかかわらず、政治資金の透明性確保を図る。

円安・物価高騰から区民の暮らし・営業を守る区政について

Q 国民健康保険料、後期高齢者医療保険料、介護保険料の減免制度は、ほとんど活用できない。区独自に保険料の減免を求める。

A 公平性の観点から実施には極めて慎重であるべきと考える。

Q 低所得世帯を対象に、熱中症から命を守るためエアコン購入・設置費用の一部助成を求める。

A エアコンに係る助成制度を導入する考えはない。

新空港線（蒲蒲線）など大規模開発推進の区政を改めることについて

Q 異常な物価高騰の中で総事業費が更に上がり大きな財政負

担を伴う新空港線事業の白紙撤回を。

A 羽田エアポートライン株式会社と連携し、事業を進める。

Q 大田区鉄道沿線まちづくり構想を抜本的に見直すべき。また蒲田五丁目15・16番街区の再開発のように、住民やなりわい業者を追い出すような計画は見直すべき。

A 鉄道とまちづくりに関する方針の見直しは考えていない。

羽田空港で相次ぐ事故・インシデントから区民の命と財産を守る対策の強化について

Q 相次ぐ事故・インシデントを受け、羽田空港の過密化と人員不足の現状を直視し、空港発着数をせめて増便前に戻せと国に求めよ。

A 緊急対策や事故対策検討委員会での取組を注視する。



過密化している羽田空港

教育と経済を活力に、住み続けたいまち・大田区に！！



日本維新の会大田区議団
宮崎 かずま



大阪・関西万博の活用について

Q 大阪・関西万博をどのような教育の機会と考えているか。

A 万博を活用してSDGsを学ぶことは大変意義がある。6年6月時点で中学校7校が修学旅行で万博への参加を計画。万博を活用して、社会課題を主体的に捉え、行動し、解決する力を育成する各学校の取組を支援していく。

ナイトタイムエコノミー[※]について

Q 夜間の経済活動について、今後の区の方向性を伺う。

A インバウンドを取り込んだ夜の経済活動にはプラスの効果が期待される一方、騒音・交通などの懸念もあり、慎重に検討する必要がある。今後も調査研究をしていく。



羽田空港/国際線到着ロビーのにぎわい

区民が満足する緑化計画について

Q 区民の環境意識の高まりを、どう区政に反映させていくか。

A グリーンプランおたを改定し、みどりの増加・保全・質の向上を推進している。地域と一緒にみどりづくりを推進するため（仮称）グリーン基金の創設を進める。

屋外広告物の掲載許可について

Q 屋外広告物の掲載許可には倫理的判断が含まれるか。

A 区として広告物の内容までは規制できない。今回の京急蒲田駅での事例は、広告主から事前相談・申請はなかった。

用語解説

※ナイトタイムエコノミー

地域の状況に応じた夜間の楽しみ方を拡充し、更なる滞在を促すことのみならず、新たな消費活動や魅力を創出することで、訪日外国人の観光消費拡大を図ることを目的としている。



笑顔あふれる大田区役所・区立学校を創ろう！



つばさ大田区議団
犬伏 秀一



Q 区職員の待遇は、個人差が大きい。感じの良い職員や冷やかな対応の職員など、様々である。4年度時点でメンタル不全で休職している職員が80名もいることは問題である。職員のメンタル不全の防止策を講じているか、伺う。

A 迅速・的確に区民サービスを提供するためには、職員が心身共に健康であることが求められる。区では、働きやすい職場環境の整備に努めている。

Q 高齢者が笑顔で余生を送れるための住まいなどの包括的な支援策について伺う。

A 大田区地域共生社会推進本部を設置しており、引き続き全庁が一体となり包括的支援を進める。

Q 区立学校の教員がウキウキ、ドキドキして学校に通って授業に臨めば児童・生徒も楽しく学校に通い、不登校などにならないはずだ。挨拶が暗い学校や笑顔のない教員がいる状態を改善する必要がある。また、ストレス耐性の適正検査を採用試験に取り入れるべきである。

A こどもたちと教員が笑顔でつながる教育環境を築く。

Q 学校や教員の不適切な対応について、学校が隠蔽することを防ぐ意味から、教育委員会へ直訴できるシステムを構築すべきである。

A 問題解決につながる体制を整え、一人ひとりの真摯な声を受け止めていく。



© moco photo

笑顔いっぱい区役所、学校を創ろう！

小池都政の評価とまちづくりについて



東京政策フォーラム
(都民ファースト・国民民主・無所属の会)
おぎの 稔



まちづくりについて

Q 路上飲酒を禁止する動きについて、区の認識を伺う。

A 他区で規制せざるを得ない状況になっていることを懸念している。安全・安心で活気と安らぎのある快適なまちづくりを進める。



6月に京急蒲田駅で開催された「蒲タコハイ祭」の様子

小池都政の政策評価について

Q 小池都政8年間の都区連携について、区長の見解を伺う。

A これまでも都と区は連携し、困難を乗り越えてきたと認識している。新空港線整備事業について、都区双方で協議の場を設け、財源を含めた合意に基づき、一致協力して鋭意取り組んでいるところである。今後も連携を深めていく。

子育て支援について

Q 都は小池都知事が就任した2016年から2023年までに待機児童を97%減らしてきた。都区連携についての認識を伺う。

A 区内の待機児童が解消した現在、保育の質の更なる向上が求められている。引き続き、都などとの連携が重要である。

区民のウェルビーイング[※]を高め、こどもに寄り添う区政を

立憲民主党大田区議団
庄嶋 孝広



Q 能登半島地震や台湾東部沖地震の避難所運営で注目された災害支援NPOなどとの連携を大田区地域防災計画でも位置付けるべき。

A NPOなどとの連携を含め、受援力を強化していく。

Q 伝わる発信を掲げる区長の下、区民との懇談会の再開を。

A 「区民と区長との懇談会」は、時機を捉えて開催していく。

Q 区施設の改築で、従来の活動ができなくなるとの声がある。町会会館などの地域資源とも連携し、区民活動の場を支援する発想が必要。

A 地域力を高めるため、区民の活動の場の充実は重要である。



町会会館が夏休みのこどもの居場所に

Q 不登校の要因の半数を無気力・不安としてきた文部科学省調査が見直された機会を生かすべき。

A 一人ひとりへの正確なアセスメントを行い、こどもに寄り添う支援を充実していく必要がある。

用語解説

※ウェルビーイング

個人の権利や自己実現が保障され、身体的、精神的、社会的に良好な状態にあることを意味する概念のこと。

一般質問

質問と答弁は、質問者がまとめた要旨を掲載しています。

本会議などの様子を、動画共有サイトYouTubeで配信しています。



一般質問……区の行政全般に関して、各議員が行うもの

コロナ後急増！ひきこもりとオンラインカジノ対策を！！



大田区議会公明党
榎 しんいち



ひきこもりの方への支援について

Q コロナ前の区内のひきこもりは推定で6,223人。コロナ後は9,950人へ急増。増加が見込まれる女性の相談や当事者への支援、また新たな体制について区の見解を伺う。

A 本人や家族を取り巻く環境や考え方、相談のタイミングなどは様々であるため、一人ひとりに寄り添い、時間をかけた支援が必要である。今後も、自立に向けた包括的支援体制の充実を図っていく。

Q 不登校などの課題を抱える子どもたちが、そのままひきこもりにならないよう、学校との連携が重要。卒業後の連携について伺う。

A SAPOTAでは、スクールソーシャルワーカーと情報を共有している。同意が得られた場合は引継ぎに取り組んでいる。今後も切れ目のない支援に努めていく。

オンラインカジノの対策について

Q 米大リーグ元通訳者のオンラインカジノ賭博問題は記憶に新しい。オンラインカジノが若者を中心に拡大している。区民を守る対策について、区の見解を伺う。

A オンラインカジノでの賭博行為が違法であることと、犯罪に関わらないよう周知・啓発することが重要。区設掲示板や区公式Xなどによる注意喚起、警察による地域力推進会議や地域力推進地区委員会での説明、出張啓発などの機会に周知・啓発に努める。子どもたちが違法性を理解できるように指導し、更に、児童・生徒、保護者、教員それぞれに対し、オンラインカジノでの賭博行為を防止する対策を推進する。

やさしいまち大田へ、バージョンアップを！



大田区議会公明党
末安 広明



空き家対策について

Q 空き家所有者に、解決に向けた道筋をより具体的に示せるような新たな仕組みの構築が必要ではないかと考えるが、いかがか。

A 他自治体の事例などを参考に、新たな仕組みづくりを含め、効果的な対策を検討していく。

行政手続・窓口サービスの改善について

Q 複数部署にまたがる手続について、どういった流れで回り、どのような手続が必要かをまとめて、総合案内や各窓口で提示する手法が導入できないか、伺う。

A 区ホームページなどの情報整理や複数課にわたる手続の情報の集約、受付時の案内強化など、対応できることから直ちに取り組む。

不登校対策としての校内教育支援センター（別室登校）^{*}の在り方について

Q 別室登校の設置について、今後どのように100%達成を目指すのか伺う。更に環境面での工夫も欠かせないと思うが、いかがか。

A 学校施設を改築する際には、校内教育支援センターを計画的に整備していく。また、早期に100%の開室を達成できるようにする。一人ひとりの心情や思いに寄り添った環境の充実にも努めていく。

Q 別室登校での対応として、学習指導を行う教員の配置やチームによる支援など、今後どのように拡充を検討していくのか、伺う。

A 学習指導の充実のため時間講師の配置などを検討していく。

用語解説

※校内教育支援センター

学校には行けるが、自分のクラスには入れない時や、少し気持ちを落ち着かせてリラックスしたい時に利用できる、学校内の空き教室などを活用した部屋のこと。児童・生徒のペースに合わせて相談に乗ったり、学習のサポートをしたりする機能を持つもの。



持続可能な大田区を目指した取組について



自由民主党大田区議団・
無所属の会
高山 雄一



資源プラスチック回収事業

Q これまでの課題や成果を踏まえた今後の取組について伺う。

A 5年10月からの地域拡大に併せてプラスチックの日を設け、一度に排出される量の低減を図ってきた。異物混入割合もおおむね15ポイント程度減少するなどの効果があった。引き続き丁寧な広報や啓発を行い、7年4月からの区内全域展開に向けて準備を加速させていく。

多摩川清掃工場の建て替え

Q 多摩川清掃工場は、今後、建て替えが計画されていると聞いている。今後どのように清掃一組と協議を行っていくのか伺う。

A 多摩川清掃工場は、8年度から環境アセスメント、13年度から建て替え工事が予定されている。立地環境も含め、地域ニーズを踏まえた地域との共存共栄が必要である。地域貢献及び地域に理解いただける整備計画について、清掃一組と協議しながら進めていく。

Q 大田区には清掃工場が3つもあるが、一方で清掃工場がない区も6区ある。23区間での負担の平準化について区の見解を伺う。

A 本区の処理量については戦略的に対応すべきと考えている。23区での共同処理の観点から踏まえつつも、本区の負担軽減について清掃一組と協議していく。

矢口地区の施設整備について

Q 老朽化している矢口特別出張所と矢口区民センターは早期の改築が期待される。今後の矢口地

区の公共施設整備の区の方針を伺う。

A 築50年を超える矢口特別出張所と矢口区民センターは、大田区公共施設改築・改修等中期プランで今後10年間で改築する施設として位置付けている。矢口地区の将来のまちづくりを見据え、今年度基本構想の検討に着手し、効果的・効率的な施設マネジメントによる区民サービスの維持・向上を目指していく。

大田区のまちづくり将来像について



自由民主党大田区議団・
無所属の会
馬橋 やすとき



Q 呑川合流改善事業について、立坑工事の工期の延期議案が6年第2回臨時会で可決されたが、改めて事業全体の工期やこれまでの工法の配慮などについて伺う。

A 本事業は、雨天時に下水道から呑川へ放流される降雨初期の特に汚れた下水を貯留している。呑川中流域における悪臭やスカムの発生といった水環境を改善するため、東調布公園内において貯留管設置に先立ち、立坑設置工事を行っている。事業全体の工期について、当初計画である9年度の完了を予定している。貯留管の設置については、工事に先立ち、説明会の開催を予定している。また、先行整備区間において、早期に効果を発揮できるよう、東京都下水道局と連携しながら、合流改善事業を進めていく。

Q ユスリカの発生抑制について、区は解決すべき課題として捉えているのか伺う。また、ユスリカの発生抑制に向けて区が考える目標について伺う。

A ユスリカが大量発生することで、通行人の目に入ってしまうなどの区民生活に影響が生じてい

ることから、解決すべき課題であると認識している。このため、区では河床清掃などの対策を実施するとともに、平成29年度から呑川ユスリカ幼虫数調査を実施している。この対策により、ユスリカの幼虫数は減少傾向となっており、一定の効果があったと考えている。引き続き、様々な取組を通じて、区民生活に影響が生じないように、ユスリカの発生抑制対策を進め、河川環境の改善に取り組んでいく。

Q 今後、抜本的な解決に向け実効性の高い策を模索していくべきと考えるが、いかがか。

A 新たな取組として藻が付着しづらい樹脂系塗装を5年6月に側壁の一部、6年4月に河床に試験的に実施し、経過観察をしているところである。今後もユスリカ対策など、河川環境の改善に取り組む。

人生100年を見据え、適度な運動と社会参加で健康づくりを



自由民主党大田区議団・
無所属の会
しおの目 まささき



人生100年の健康づくりについて

Q 国における65歳以上の人口は3,623万人。予備軍を含めた認知症患者数は、2030年に1,100万人を超す勢い。高齢者の身体及び心の健康の三要素は「適切な食事・適度な運動・社会参加」である。そこで区が東邦大学と行ってきた先駆的な健康政策である、「人生100年を見据えた健康寿命延伸プロジェクト」の取組及び今後の見通しを伺う。

A 小学校では健康教育授業、企業では健康測定会、地域では健康イベントを開催し、「我がごと」として関心を持ってもらった。科学的根拠に基づく施策展開ができるよ

一般質問

う東邦大学に指導してもらい、健康施策を更に推進する。

Q 活動団体やサークルは百花りょうらんであり、多くの方が人生をおう歌しているが、適度な運動や社会参加に縁遠い方も多数。高齢者予備軍を含めると懸念が深まる。高齢者やその予備軍はビーチヨガやシルバーディスコといった新しいチャレンジをしてもらいたい。私も民謡を習い始めた。単なる長生きでなく誰もが生きがいや希望を持ち、楽しく笑顔で人生を全うできるよう裾野を広げ選択肢を示し、生涯を通じ趣味やしこうに合わせた活動やスポーツに取り組みめる環境づくりを行い、適度な運動と社会参加を促すべき。

A 関連部局と連携し、年齢や体力に応じ、区民が様々なスポーツや趣味を楽しみ、社会や人とつながり、心身ともに健やかに笑顔で過ごすことができるよう取り組む。

ものづくり企業の就労支援

Q セカンド・ステージとしての企業での就労、活躍の場の用意が重要。子育てが一段落して再び就労を望む女性など、多様なものづくり人材の活用について、伺う。

A 深掘り調査や、実態の把握及び分析を行い、支援策を検討・再構築する。

偽りの定額減税、6月に決めた増税で手取りと賃金が減る

フェアな民主主義
奈須 利江



Q 定額減税は、7月から11か月増税状態を作ること、6月に決めた子ども・子育て支援制度の医療保険料に上乗せする増税を見えにくくさせる。雇われる人と雇う人、労使折半で負担する医療保険料増は、

手取りを減らし賃金を抑制しないか。

A 全世代・全経済主体が子育て世帯を支える分かち合い制度。

Q 外国人労働者のこども増で区民負担は試算より増えないか。

A 試算は行っていない。保険料負担は増えるか断定できない。

Q 国と地方の税負担割合が減るが減税されるわけではない。

区の負担減はいくらと見込むか。

A 10年度までの区の縮減される負担額は試算で約34億円。

**多様な学びの場を整備する
インクルーシブ教育システム**

東京政策フォーラム
(都民ファースト・国民民主・無所属の会)
寺下 なおみ



障がいのある児童の学校生活

Q 障がいのある児童・生徒への配慮や取組を伺う。

A 利用しやすい施設の運用と人的支援などにより、一人ひとりの教育的ニーズに応じた多様な学びの場の構築を進める。

Q 宿泊を伴う移動教室の体制や医療的ケア児へのサポート状況、今後の看護師派遣について伺う。

A 看護師が施設に滞在しているほか、介添員や補助員が同行している。医療的ケアは児童の安全を最優先し、保護者に同行をお願い

している。今後も適切に対応する。

安心・安全の大田区政を求めて

日本共産党大田区議団
村石 真依子



区民の足を守る公共交通について

Q ライドシェアは交通不便地域の解消につながらないため大田区交通政策基本計画を見直すべき。

A ライドシェアの動向を注視していく。

Q 区に路線バスの減便の危機に対する打開策を求める。

A 国、都、近隣区の動向を注視し、事業者などと連携する。

Q 交通政策は大田区コミュニティバス等検討会議要綱を活用し、計画の段階から区民参加の検討会議を各地で行い具体化させるべき。

A 交通不便地域の改善に向け、多様な主体と連携していく。

民泊制度の見直しについて

Q 安心・安全を脅かす民泊のガイドラインは見直すべき。近隣住民から不安や問題が提起された施設は、迅速に調査・指導すること。

A 現行のガイドラインに基づき、適切に対応していく。

大田区議会 会議録のご案内

大田区議会の会議録は大田区立図書館、区政情報コーナー（区役所本庁舎2階）のほか、大田区議会ホームページでご覧いただけます。

過去の会議録はこちら 

直近の会議録はこちら 

区民に寄り添い、にぎわいある大田区を！



日本維新の会大田区議団
三沢 清太郎



新紙幣への対応について

Q 小規模飲食店に新紙幣対応自動販売機の導入支援を求める。

A 補助金などの導入は一時的な解決策にすぎない。

私有地の不発弾処理費用について

Q 不発弾処理は国に全額費用負担を求めていくべきと考える。

A 国が全額負担すべきとの意見書が提出されていることを注視。他自治体動向も見極め対応する。

橋のライトアップによる臨海部のにぎわい創出について

Q 海老取川流域の橋のライトアップは来訪者の回遊性を高め、にぎわい創出に寄与できるのでは。

A 公園や橋などの資源を活用し、にぎわい創出を研究していく。

4月に発表された新空港線の経済効果について伺う



立憲民主党大田区議団
津田 智紀



新空港線（蒲蒲線）について

Q 店舗の売上げ減などのマイナス面やデメリットについて区はどのように考えているか伺う。

A 鉄道整備の有無にかかわらず、都市の魅力や利便性を高め、国内外から選択されるまちづくりを進めていく必要がある。

Q 経済波及効果の中で示された直接効果のうち、交通費の算出方法について伺う。

A 新空港線の運賃における消費額だけでなく、その前後における様々な交通手段も含んだ交通費の消費額を合計したものとなる。

動物愛護の推進と区境地域からの地域力活性化を期する



つばさ大田区議団
松原 元



動物愛護施策について

Q 他区を参考に動物に関する相談支援体制を導入し、区内団体を支援すべきと考えるがいかがか。

A 他自治体の状況などを注視しつつ、様々なツールを活用し、動物の適正な飼育に関する情報発信と普及啓発に取り組んでいく。

区境地域の振興について

Q 区境地域では住民回遊を推進し、地域力を維持することが重要。品川区との連携事業は他隣接区とも促進すべき。区の見解を伺う。

A 引き続き、他自治体と連携し、区の魅力の発信と地域のにぎわいづくりを進めていく。

区内河川の環境整備について

Q 丸子川について、環境改善のため、現在実施されている河川清掃と浚渫工事回数増加と老朽化したフェンスの改善を求める。

A 河川清掃及び浚渫の回数については、必要に応じて検討していく。金網フェンスについては、都と対応を協議していく。



ヤングケアラー※支援に向けて



OTAれいわ新選組
寺田 かずとも



Q ヤングケアラーに対する取組の進捗状況について伺う。

A ヤングケアラーへの支援を進めていくに当たり、5年11月から12月にかけて、ヤングケアラー実態調査を行った。調査の実施結果については、関係部局と共有し、ヤングケアラーに対する適切な支援について検討している。

Q 現時点での課題認識と、今後の展望について伺う。

A 支援の視点を、こどもの負担軽減、こどもの相談意識の醸成、こどもの視点での相談体制の整備、周囲の大人の気付きの4つに整理している。これらの視点を踏まえ、ヤングケアラー支援策の具体化に向けて取り組んでいく。

用語解説

※ヤングケアラー

家族の介護、その他の日常生活上の世話を過度に行っていると認められるこども・若者のこと。子ども・若者育成支援推進法において、国・地方公共団体などが各種支援に努めるべき対象とされている。

こどもたちのために福祉、教育を整える区政を



立憲民主党大田区議団
小川 あずさ



Q (仮称)大田区子ども家庭総合支援センター開設に当たり、都と区での連携について伺う。

A 区は児童虐待の未然防止、都は地域の支援を充実させ、切

一般質問

れ目のない新たな相談支援体制を着実に構築する。

Q 各種の学校行事の必要性について伺う。

A 文化的連合行事、体育的行事、ものづくり学習と、豊かな人生の基礎となる力を育成している。

Q 行事による教員の負担軽減に向けた人的支援の現状を伺う。

A 会計年度任用職員である教員支援員、読書学習司書などを全校配置し、部活動指導員を拡充。代替教員も区が独自採用している。

当たり前のダイバーシティ&インクルージョン^{*}を！！



東京政策フォーラム
(都民ファースト・国民民主・無所属の会)

とく山 れいこ



働きやすい社会の実現に向けた大田区の取組について

Q 女性管理職割合22%以上を目指す区の現状及び取組を伺う。

A 5年度に選考制度を見直し、ベテラン職員を即戦力として活用する指名制を導入し、多様な管理職昇任の道が確保できたと考える。

Q 男性の育児休業の取得をより高めるための取組を伺う。

A 配偶者の妊娠・出産の申出があった際、対象者への制度周知や意向確認を所属長に義務化した。4年度の男性職員の育児休業取得率は63%を超え、年々増加している。

用語解説

^{*}ダイバーシティ&インクルージョン

年齢や性別などにとられない多種多様な人材が、お互いに認め合い、自らの能力を最大限発揮し、活躍できること。



出生数、出生率共に過去最低に子育て世帯への徹底支援を



日本維新の会大田区議団
本多 たかまさ



多様な学びの機会創出について

Q 昨今、特別な教育的支援を必要とする児童が多くおり、区でも支援を進めている。しかし学校ではまだまだ対応が追い付かず、状況に応じた支援の拡充が必要である。

一人ひとりの児童に適した学びの場を創出するための区の取組を伺う。

A 各学校、児童の実情に応じた特別支援教育を充実していく。

こどもの事故防止、安全な学校へ

Q 福岡県の小学校で児童が給食のうずらの卵を喉に詰まらせ、窒息死する痛ましい事故が起きた。食の教育、教員の異物除去の方法の習得が重要である。区の事故予防への取組、事故発生時の対応を伺う。

A 注意喚起などを行い、安全・安心な学校給食を実施する。

大田区議会ガイドブックのご案内

若い世代の方にも区議会の活動を知ってもらうため、イラストを用いて分かりやすく紹介する「大田区議会ガイドブック」を発行しています。

ホームページからもご覧いただけます。

簡単アクセス!



ホームページのご案内

議会の新着情報や議員名簿、会議日程などをお知らせしています。ぜひご活用ください。



簡単アクセス!

詳細は /

大田区議会



第2回定例会 議決結果

議案などの
詳細は、こちら



今回審議した議案の結果は以下のとおりです。

○：賛成 ×：反対 棄：棄権 欠：欠席

| 種別 | 件名 | 会派名称 (所属議員数) | | | | | | | | | 結果 |
|-------------|--|----------------|-----------|----------|----------|----------|-----------|----------|-----------|----------|----|
| | | ※ 自 (15) | 公 (11) | 共 (5) | 維 (5) | つ (4) | フォ (4) | 立 (4) | フェ (1) | れ (1) | |
| 条例の制定 | 職員の退職管理に関する条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | 可決 |
| | 大田区立馬込アートギャラリー条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | 可決 |
| | 羽田空港跡地第1ゾーン都市計画公園整備運営等事業者選定委員会条例 | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | 可決 |
| 条例の一部改正 | アメリカ合衆国軍隊の構成員等の所有する軽自動車等に対する軽自動車税の証紙徴収の方法に関する条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | 可決 |
| | 大田区手数料条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| | 大田区家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | 可決 |
| 契約の締結 | 大田区立くすのき園及び大田区立南六郷福祉園増築並びに大田区立くすのき園大規模改修工事請負契約 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| | 大田区立田園調布中学校外壁改修その他工事（Ⅱ期）請負契約 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| | 大田区立くすのき園及び大田区立南六郷福祉園増築並びに大田区立くすのき園大規模改修電気設備工事請負契約 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| | 大田区立馬込第三小学校校舎（棟番号①-1ほか）取壊しその他工事請負契約 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | 可決 |
| | 大田区立入新井第一小学校校舎（棟番号②-1ほか）取壊し工事請負契約 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | 可決 |
| 契約の変更 | 大田区立入新井第一小学校及び仮称大田区大森北四丁目複合施設改築その他工事（Ⅰ期）請負契約 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| | 大田区立入新井第一小学校及び仮称大田区大森北四丁目複合施設改築その他電気設備工事（Ⅰ期）請負契約 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| | 大田区立入新井第一小学校及び仮称大田区大森北四丁目複合施設改築その他機械設備工事（Ⅰ期）請負契約 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 包括外部監査契約の締結 | 包括外部監査契約 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 議員の派遣 | 秋田県美郷町議会親善訪問 | ○ | ○ | ○ | ○ 欠1 | ○ | ○ | ○ | 棄 | ○ | 可決 |
| | セーラム市親善訪問調査 | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | 可決 |
| | 大連市親善訪問 | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | 可決 |
| | 区政施策調査 | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |

※議長は表決に加わりません。

報告

- 令和5年度大田区繰越明許費繰越計算書
- 大田区土地開発公社の経営状況に関する書類の提出
- 公益財団法人大田区スポーツ協会の経営状況に関する書類の提出
- 公益財団法人大田区文化振興協会の経営状況に関する書類の提出
- 一般財団法人国際都市おおた協会の経営状況に関する書類の提出
- 公益財団法人大田区産業振興協会の経営状況に関する書類の提出
- 株式会社大田まちづくり公社の経営状況に関する書類の提出
- 羽田エアポートライン株式会社の経営状況に関する書類の提出
- 一般財団法人大田区環境公社の経営状況に関する書類の提出
- 区の義務に属する損害賠償額決定に係る専決処分

会派名称

自 … 自由民主党大田区議団・無所属の会
公 … 大田区議会公明党
共 … 日本共産党大田区議団

維 … 日本維新の会大田区議団
つ … つばさ大田区議団
フォ … 東京政策フォーラム(都民ファースト・国民民主・無所属の会)

立 … 立憲民主党大田区議団
フェ … フェアな民主主義
れ … OTAれいわ新選組

第2回定例会 請願・陳情の審査結果

今回採決した請願・陳情の審査結果は以下のとおりです。

| 付託委員会 | 件名 | 審査結果 |
|-------------|--|------|
| 総務財政委員会 | ミャンマー軍の徴兵制実施に伴い人道支援を求める意見書を日本政府へ提出要請する陳情 | 不採択 |
| 健康福祉委員会 | 失語症者向け意思疎通支援者派遣制度の早期実現に関する陳情 | 採択 |
| | 寿祝金贈呈事業の一部変更を見直し、「寿祝金3,000円」の復活に関する陳情 | 不採択 |
| | レプリコワクチン接種等は、効果と影響の検証のもと行っていただきたい陳情 | 不採択 |
| | 国に対して訪問介護の基本報酬引き下げの撤回を求める意見書の提出を求める請願 | 不採択 |
| まちづくり環境委員会 | 若竹児童公園に誰にも優しいトイレの設置を求める陳情 | 不採択 |
| | 相生小学校前の歩道について段差の改修を求める陳情 | 不採択 |
| | 若竹児童公園にトイレを設置することへの陳情 | 不採択 |
| こども文教委員会 | 馬込第三小学校改築計画についての陳情 | 不採択 |
| 交通政策調査特別委員会 | 蒲蒲線計画に関してパブリックコメントが示す区民の声を真摯に受け止めてほしい陳情 | 継続 |
| | コミュニティバスとデマンド交通に関する陳情 | 不採択 |
| 羽田空港対策特別委員会 | B滑走路西向き離陸時の新たな騒音軽減対策を国に要望してほしいと願う陳情 | 不採択 |
| | D滑走路北向き離陸時の内陸飛行の騒音測定を五か所に戻してほしいと願う陳情 | 不採択 |
| 防災安全対策特別委員会 | 低所得世帯に防災備蓄品を無償支給することを求める陳情 | 不採択 |

議会防災訓練を実施しました

第2回定例会第1日の6月19日、本会議終了後に議会防災訓練を実施しました。

訓練は、①身の安全を守ること、②非常時の議事の進行確認、③議会災害対策本部の設置運営訓練の3点を目的としました。議場での訓練では、本会議で議員が登壇中に、東京湾北部を震源とする震度6強の地震

が発生した想定で行いました。

また、議会災害対策本部設置運営訓練では、議員が区役所に登庁できない状況を想定して、本部構成員がWE B会議ツールを活用し、各会派内の安否確認や被害状況の報告後、議会災害対策本部として対応すべき事項を確認しました。



議場での訓練の様子



議会災害対策本部設置運営訓練の様子

議会ライブ配信のご案内

本会議及び予算・決算特別委員会の様子をYouTube大田区議会チャンネルでライブ配信しています。

詳細は、大田区議会のホームページをご確認ください。

議会中継に関する
情報はこちら



請願・陳情はどなたでも出せます

- 1 請願には、議員1名以上の紹介が必要です。議員の紹介がない場合は、陳情として取り扱います。
- 2 大田区議会では、原則として請願と陳情の審査は同じ扱いです。
- 3 請願・陳情の内容が数種類に及ぶ場合は、各々別の請願・陳情に分けてください。
- 4 請願・陳情の件名は、40文字以内にしてください。
- 5 請願・陳情書を提出する際は、提出者の署名または記名押印が必要です。住所、氏名は原則として公開となります。
- 6 署名簿がある場合は、請願・陳情の趣旨に賛同していることが分かる様式としてください。

●提出方法

受付は、土曜・日曜、祝日及び年末年始を除く平日の午前8時30分から午後5時まで、区役所本庁舎10階の議会事務局の窓口で行っています。

●請願・陳情書の書き方

邦文の楷書で、以下の内容を記載してください。

- (1) 提出年月日
- (2) 宛先（大田区議会議長）
- (3) 請願・陳情者の住所、氏名、連絡先（氏名は「署名または記名押印（スタンプ印は不可）」）
- (4) 件名（40字以内）
- (5) 請願・陳情の趣旨及び理由（簡潔な文章で）

●陳情書を提出される方へ

次に該当する陳情は審査されない場合があります。

- (1) 著しく個人、団体などをひぼう、中傷をし、その個人、団体などの名誉毀損、信用失墜のおそれがあると判断したもの
- (2) 脅迫、恐喝など、公序良俗に反する用語の使用があるもの
- (3) 郵送されたもの
- (4) 住所、連絡先が不十分で連絡のとれないもの
- (5) 同一期内でおおむね一年を経過していない同趣旨のもので、状況の変化がないと認められるもの
- (6) マンション紛争など、私人間で解決すべき内容を含むもの
- (7) 既に願意が達成されていると思われるもの
- (8) その他議会の審査になじまないと議長が判断したもの

請願・陳情書(記載例)

年 月 日

大田区議会議長あて

請願者(陳情者)
住所
氏名 ◇◇◇◇
(署名又は記名押印)
電話番号

紹介議員(陳情には不要)
 □□□□
(署名又は記名押印)

○○○○に関する請願(又は陳情)

請願(陳情)の趣旨
1 _____
2 _____

理由 _____

押印について、
スタンプ印は不可

件名の字数は
40字以内

陳情の場合は、
紹介議員は不要

請願・陳情の提出について、
詳細はこちら



大田区議会議員



松原 秀典 (自民・無所属) 高瀬 三徳 (自民・無所属) 大森 昭彦 (自民・無所属) しおの目まさき (自民・無所属) 湯本 良太郎 (自民・無所属)



松本 洋之 (公明) 岡元 由美 (公明)



押見 隆太 (自民・無所属) 鈴木 隆之 (自民・無所属) 伊佐治 剛 (自民・無所属) 馬橋 やすとき (自民・無所属) えびさわ 圭介 (自民・無所属)



大橋 たけし (公明) 小峰 よしえ (公明)



高山 雄一 (自民・無所属) 中坪 悦子 (自民・無所属) 北村 やよい (自民・無所属) 天坂 大介 (自民・無所属) 柿島 耕平 (自民・無所属)



末安 広明 (公明) 鈴木 ゆみ (公明)

| | 会派名称 | 電話番号 |
|--------|--------------------------------|---------------|
| 自民・無所属 | 自由民主党大田区議団・無所属の会 | ☎03-5744-1480 |
| 公明 | 大田区議会公明党 | ☎03-5744-1488 |
| 共産 | 日本共産党大田区議団 | ☎03-5744-1477 |
| 維新 | 日本維新の会大田区議団 | ☎03-5744-1155 |
| つばさ | つばさ大田区議団 | ☎03-5744-1718 |
| フォーラム | 東京政策フォーラム (都民ファースト・国民民主・無所属の会) | ☎03-5744-1285 |
| 立憲 | 立憲民主党大田区議団 | ☎03-5744-1475 |
| フェア民 | フェアな民主主義 | ☎03-5744-1469 |
| れ新 | OTAれいわ新選組 | ☎03-5744-1675 |



おぎの 稔 (フォーラム) 清水 ちこ (フォーラム)

(議席)

令和6年7月1日現在 定数：50人 現員：50人



永年在職議員表彰



松原 秀典 議員



高瀬 三徳 議員



すがや 郁恵 議員

大田区議会は、第2回定例会第2日の6月20日の本会議において、区議会議員として在職25年間にわたり、区政の発展に尽力された功績に対し、松原秀典議員、高瀬三徳議員、すがや郁恵議員を表彰いたしました。

傍聴のご案内（本会議・委員会）

本会議及び予算・決算特別委員会を傍聴希望の方は、区役所本庁舎11階の傍聴受付にお越しください。
委員会（予算・決算特別委員会を除く）を傍聴希望の方は、区役所本庁舎10階の議会事務局にお越しください。
本会議・委員会ともに、住所・氏名をご記入いただいた後、ご案内させていただきます。

聴覚などに障がいのある方へ

本会議及び委員会では、手話通訳やFM補聴がご利用いただけます。

●手話通訳を希望される方

傍聴希望日の7日前までに問合せ先へお申し出ください。

●FM補聴の利用を希望される方

傍聴の際にお申し出ください。

問合せ先 議会事務局 FAX 03-5744-1541 電話 03-5744-1474

簡単アクセス!



音声認識文字変換ツール(UDトーク)の紹介

大田区議会では、全ての方に安心して議会を傍聴していただけるよう手話通訳及びFM補聴をご利用いただけます。また、より一層傍聴しやすい環境を整備するため、音声認識文字変換ツールを導入しています。

本会議及び予算・決算特別委員会での発言内容をUDトークを介して文字化し、傍聴席に設置した液晶モニターにリアルタイムで表示します。



第3回定例会の予定

9月13日(金)～10月11日(金)

○請願・陳情の締切り 9月3日(火)

※会議の日時などは、定例会開催前の議会運営委員会で決定します。
詳細は、ホームページでご覧いただくか、議会事務局までお問合せください。



No.262 令和6年8月4日 おおた区議会だより 令和6年 第2回定例会号

発行:大田区議会 〒144-8621 大田区蒲田五丁目13番14号 ☎03-5744-1474(直通) FAX:03-5744-1541

<https://www.city.ota.tokyo.jp/gikai/>

大田区議会

